



いずみに集う

第9号

2025 年 5 月 11 日



発行:小田急金森泉自治会館建設委員会

いつになる？ 市工事費予算確保

予定地の提供を受ける前提として、ふれあいもみじ館への引き込み電線の移設があります。できるだけ早く移設工事が完了するよう、町田市に働きかけを行っています。窓口となる市民協働推進課によると、移設工事のための予算について、2025(令和7)年度は確保出来なかったとの連絡がありました。1日でも早く実現したいとの思いで活動していますが、これでまた計画が1年遅れることが確定しました。

自治会館の検討方針

会館の建物は市から補助金をもらえるタイミングでしっかりと初期投資をし、できる限りランニングコストを含めた総コストを低く抑えると同時に、居住性の高い建物にすることが必要です。会館建設委員会では様々な案を比べながら、考え得るベストな計画になるよう検討を続けています。そうすれば、長期修繕のための積立金を低く抑えながら運営できるはずだと考えています。

ふれあいもみじ館の今後

町田市ではふれあいもみじ館を含む、6ヶ所の高齢者福祉センターについて、「あり方検討会」を開催し、その検討結果が一昨年3月に報告されていることがわかりました。

町田市公共施設再編計画(2018年策定)ではふれあいもみじ館のような高齢者専用施設の単独での建替は行わず、市民センター等への移転を図る、計画的修繕の凍結、建物を安全に使用できなくなる前に計画的に廃止・利用停止するとされています。

この町田市の全体方針を受け、「あり方検討会」はふれあいもみじ館の使用期限として、鉄筋コンクリートの耐用年数60年を目安とするとされました。

ふれあいもみじ館は昭和50年(1975年)に開設されたので、あと10年後の2035年頃に廃止になる可能性があることがわかりました。

自治会館の早期実現に向けて、引き続き働きかけを続けていきますのでご協力をお願いします。

